

BMW Concept X6.

目次



特徴	2
世界初の SAC （スポーツ・アクティビティ・クーペ）、その姿が初めて明かされる	
BMW Concept X6	4
全長	10



特徴

特徴：

- 世界初のSAC（スポーツ・アクティビティ・クーペ）という、斬新なコンセプト。
- SAV（スポーツ・アクティビティ・ビークル）の先駆者であるBMWが新たに発表する、妥協のない斬新なコンセプト。
- BMW Xシリーズのスポーティなフォルム。そして強く打ち出されたドライビングポテンシャル。BMWらしいスタイルが備えたダイナミックな走りと、それを体現する美しいデザイン。
- BMWクーペが持つスポーティなエレガンスとBMW Xシリーズの遺伝子を融合した、個性的なボディ。
- Xシリーズの特徴であるゆとりの車高とゆったりとしたホイールハウスによる足回りの軽快さは、BMW Concept X6にもパワーアップした姿で継承。
- 世界で初めてのDynamic Performance Control（ダイナミック・パフォーマンス・コントロール）搭載車となるBMW Concept X6。インテリジェント4輪駆動システムのxDriveと共に、あらゆるドライビングシーンで比類ない走行安定性と正確さを実現。

エクステリア：

- グリーンハウスのルーフラインがフラットな形状をした、力強い印象のボディ。流れるようなルーフの形、短いフロントオーバーハング、伸びやかなホイールベースとリアオーバーハングは、クーペの特徴を受け継いでいる。
- BMW Concept X6のデザインに表現された、Xシリーズの遺伝子。インテリジェント4輪駆動システムのxDriveを搭載している事を物語る、サイドから眺めた時の前輪・後輪間のバランス。

- ボディデザインでは二番目に重要な要素となる足回りの軽快さ。力強いフォルムのホイールハウスと大きなホイール部分が、安定した走りを実現。
- うねりを付けたことにより表情が豊かになったエクステリア。
- ダイナミズムを加速するキャラクターラインと、ショルダーからサイドシルにかけての動きを作るV型ライン。
- Xシリーズらしさのある、個性的でワイドなフロントマスク。BMWの証となるエアインレットの巨大なキドニーグリルやシャープなフォルムのヘッドライト、ホイールハウスの突き出しがアクセントとなるサイドパネル。エンジン出力の高さを表す大きなエアインレットが車体を低く見せ、フロントのスポーティさを強調。
- ボンネットはシャープなラインが入ったフォルムで、キドニーグリルに向かって幅が狭くなるデザイン。目立ちすぎない、プラスチックのアプリケーションを採用したバンパーはXシリーズのスタイル。ボディと一体化するカラーで上品さを更に印象付ける。
- 力強さと安定性を表現する、独創的なDピラーのフォルム。ワイドさを強調する革新的なリアコンビネーションランプのデザイン。外に配置された排気系と水平なラインがリアのワイド感を更にアピール。
- クロームパーツとコントラストを成す、深いボディカラーがスポーティなドライビングカーを象徴。エアインレットに配されたフォグランプからクローム仕上げのマフラーまで、サイドシルのフォルムに上質なアクセントが加えられている。
- ミルド仕上げを施したアルミニウム製アンダーライドプロテクションをフロントとリアに装備。
- リアコンビネーションランプにはフラッシュライトを内蔵。夜間でも優れた視認性を実現。

世界初のSAC（スポーツ・アクティビティ・クーペ）、その姿が初めて明かされる。 **BMW Concept X6。**



BMWが創り上げたSAV（スポーツ・アクティビティ・ビークル）は、新たなカテゴリーを築く革新的なものとなった。そして今、更に新たなコンセプトの誕生 - それがスポーツ・アクティビティ・クーペだ。優雅さとダイナミックさを備えた流れのあるルーフラインとBMW Xシリーズの持ち味を融合させた魅力ある一台。そのコンセプトは、BMW Concept X6で初めて具体的な形となる。この試作車でBMWが提示するビジョンとは、スポーティさに焦点を当てたXシリーズの個性的なデザインにエレガントな外観を取り入れた、比類なクルマなのだ。

BMW Concept X6では、デザインとコンセプト両方の特徴をかつてないアプローチで完全に融合させている。4ドア、高くダイナミックなラインを描くクーペのルーフ、ひときわ目を引くホイールハウス、四輪駆動をアピールする視覚的アクセント。これらすべてが結合されている。誕生したのは、一台のクルマ。それはこのカテゴリーの特徴となるスポーティな走りを、比類ない方法で解釈したBMW Xの遺伝子を紛れもなく受け継ぐ一台となる。デザインはドライビングの持ち味をそのまま美しく視覚化。

Dynamik Performance Control（ダイナミック・パフォーマンス・コントロール）を搭載したインテリジェント4輪駆動システムのxDriveが、BMW Concept X6の印象を強く打ち出している。

比類ない美しさ：ダイナミックなクーペのラインとXシリーズの特徴を融合。

路上でのダイナミックな走りを象徴する、BMW Concept X6のフロントデザインは圧巻だ。そしてサイドからの眺めは優美さが際立ち、ダイナミックさを強調する短いフロントオーバーハングと、長いリアオーバーハングはクルマに伸びやかな印象を与えていた。ボンネットのラインは優美なAピラーへと緩やかなアーチを描く。後退したグリーンハウスとBピラーから傾斜が始まるルーフラインは、高いショルダーラインと相まってウィンドーにフラットな印象を与える。ルーフラインはリアエンドまで緩やかに流れ、最後はクーペのような跳ねのあるプレスライン。そして、同時に計算され尽くしたエアロダイナミズムまでもが実現されているのだ。

また、サイドラインのダイナミックなフォルムは美しい効果をもたらしている。BMW Concept X6の印象的な外観は、こうしたラインとXシリーズが持つデザイン要素とのユニークなコンビネーションの結晶と言えよう。高いショルダーラインの下には、大きなホイールハウス。起伏感のあるボディによって中心点には強烈で力強い印象が与えられている。ドアの下には

ペントスロット付きのアルミ製ステップを装備した重量感あふれるサイドシルがあり、そして同様にアルミ製の大きなアンダーライドプロテクションが前後に取り付けられている。

あくまでスポーティな走りを追求する、一貫した方向性。

Concept X6とは、Xシリーズの特徴的なデザインと独自の美しさを融合したモデルである。この試作車が持つキャラクターとデザインは、これまでのSAVモデルと一線を画している。そして同時にスポーツ・アクティビティ・クーペとしてBMW Concept X6の核となる特徴は、独自性の開拓というテーマをしっかりと踏まえている。

卓越した走りのダイナミックさから、SAVモデルのX5は市場でも例外的現象を巻き起こし、セグメント全体の先駆者ともなった。そしてこのセグメントの中において未だ根強いスポーティさという方向性に対して、新しい基準が誕生する予感を与えてくれるのがConcept X6である。試作車のデザインは、スポーツ・アクティビティ・クーペのドライビングプレジャーに対する期待を最高潮に呼び覚ますものとなっているのだ。Xシリーズが持つ剛性と抜群のトラクション性能、そしてこれまでこのセグメントが実現し得なかつたダイナミックなドライビングクオリティを兼ね備えるクルマである。

世界初公開：BMW Concept X6のダイナミック・パフォーマンス・コントロール。

新しい走りを生み出す、パーフェクトな条件。駆動系とボディをコントロールするシステム、Dynamic Performance Control（ダイナミック・パフォーマンス・コントロール）がBMW Concept X6で世界で初めてその全貌を明らかにする。ダイナミック・パフォーマンス・コントロールとインテリジェント4輪駆動システムのxDriveを組み合わせることで実現した、あらゆる走行状況に対応するかつてない安定性。この組合せは、ドライビングパフォーマンスだけではなく安全性をも高めることになる。トルク配分の切替が瞬時に、必要に応じてリアサスペンションの両輪にそれぞれ異なる大きさで伝えられるという革新的システムである。ダイナミック・パフォーマンス・コントロールは世界でも類を見ないシステムであり、エンジンの発進時や走行時に優れた安定性を発揮してくれるのだ。

例えばクルマがアンダーステアやオーバーステアになりがちなカーブでの走行。このシステムは車輪間の駆動トルクを確実に配分するので、安定性とダイナミックなドライビングを両立できる。ダイナミック・パフォーマンス・コントロールはどのような走行速度で走っていても、安定性を向上してくれるシステムなのだ。走行中の安定したトラクション性能とカーブにおける正確なステアリングをサポートする独自の走破性。更に、横加速の向上やカーブを曲がった後で加速した時のハンドリング性能も申し分ない。

BMW - 急成長を遂げる市場セグメントの挑発者。

Concept X6の発表。新しいカーコンセプトの開発により、BMWは更に傑出した競争力を立証することになる。魅力あふれるこの試作車を、世界的成功を収めたXシリーズの先を行くバリエーションとして捉える向きもあるだろう。また、このクラスの市場で典型となっている「スポーツ仕様」の、これまでにない飛躍体験を可能にする一台と捉える向きもあるだろう。スポーツ・アクティビティ・クーペという斬新なコンセプトとして導き出された結論。特に急成長を続けるこのクラスのマーケットに、BMWが新風を巻き起こす。

Concept X6は、他社が製造している既存のシリーズモデルとは全く異なっている。しかし、X6の上質なデザインは他のクルマにとって大きな衝撃となるだろう。世界初のスポーツ・アクティビティ・クーペは、特にこだわりを持つドライバーの想像力を一つの明確な方向へと誘うことになる。それは、今までになかったデザインに込められた走りのダイナミズム。

Concept X6が強く打ち出すのは、壮大なイメージによるきわめて魅力に満ちた外観だ。持つ人のスタイルを証明する、理想的な方法としてのデザイン。スポーツ・アクティビティ・クーペは、そんな存在なのだ。

突出した個性、革新性 - そしてBMWらしさ。

独自の、そして全く新しいクルマとして自動車市場に登場するConcept X6。しかし、一目でBMWだと分かるクルマでもある。試作車の全体的なデザインの特徴は、紛れもなくBMWのデザインに由来しているからだ。このデザインが発する主張は人の注目を集め。なぜなら、これまでこのようなクルマは存在しなかったからだ。軽快さをまとったエレガンス、上質なルックス、スタイルのある豪華さ。この外観同様、Concept X6はXシリーズの特徴である並外れた力強さと高い剛性においても際立っている。

スポーツ・アクティビティ・クーペという新発想でまっすぐ理想に向かつて走るConcept X6が、魅力に満ちた、最高の第一歩を踏み出す。全く新しいタイプのクルマが作られた理由を知るには、デザインを一見するのが一番だ。そもそもこのデザインの基本となるものを育んだのは、通常の車道だけではなく狭い道でも小回りが効く取り回しの良さと、卓越した力強さを持つBMWならではのスポーツ・アクティビティ・クーペを開発するという期待だけだった。この期待は試作車に見事に具現化されている。まさに、他には真似のできない個性がこのデザインに現れていると言えるだろう。

BMWのクルマに共通する「本物」が持つデザイン性はConcept X6のルックスにも踏襲されているが、同時にマーケットへの参入という面もきちんと考え抜かれている。こう言い換えても良いかもしれない。BMWだけが創造可能なスポーツ・アクティビティ・クーペの在るべき姿は、Concept X6自身が体現しているのだと。

ダイナミックな走りを都会で味わう、象徴としてのフロントマスク。BMW Concept X6は、どこから見てもBMWのクルマである。それは、これまでのXシリーズが持つカタチを大事にしているからだ。ボディはフロント、サイドそしてリアへとシームレスに流れ、フォルムに一体感を生み出している。ディテールに目を向ければ、このクルマがいかにBMWらしいかが分かるはずだ。キドニーグリルにシャープなダブルヘッドライト。サイド的印象的な眺めを演出するキャラクターラインから、ワイドさを強調するリアの水平ラインに至るまでBMWの個性があふれている。

X5同様、今回の試作車でもフロント回りにはタフな外見のデザインを採用している。ボディカラーの面積が増えたために高さが抑えられた印象を与えるのは、オンロードでのスポーツ・アクティビティ・クーペが生み出すダイナミックな走りを強調するためだ。Xシリーズの遺伝子は、X6のボンネットや高級感あふれるチタンカラー仕上げのストレートなキドニーグリルに受け継がれている。軽快な走りのポテンシャルにアクセントとして映える細かな違いも、多くのディテールに見て取ることができる。

大きく広がるエアインテークは、高出力のエンジンを冷却するためだけではない。エアインテークとヘッドライトがサイドパネルをゆったりと包むような形になっていることで、視覚的にもタイヤの方向が分かりやすく、クルマが安定して路面に乗っていることが見て取れるのだ。クロームモールで上下に分割されたエアインテークには、丸型のフォグランプを組み込んである。エアインテーク中心のフレームは外に向かうラインを強調しており、路面への視覚的な流れを考慮している。

BMWならではのダブルヘッドライトも、つり上がるようなシャープな形状をしているため特に強い印象を与える個所となっており、このクルマが放つ強い外観は、実際の路上では更に映えるはずである。ヘッドライト回りのフレームはサイドパネル部分にうまく流れ込んでいる。そのため、フロントオーバーハングは実際よりも短めに見えるかもしれない。だからこそ横からの眺めは、よりスポーティなものとなるのだ。

サイドからの眺め：個性が際立つV型ボンネットとダイナミックなルーフライン。

Concept X6を横から眺めると、そのプロポーションの個性が更にはっきりと分かる。ゆったりと後方へ流れるルーフラインは、テールセクションに至るまでクーペのようなシルエットを備えている。ハンドル付近から伸び上がるルーフラインへは、滑らかにリアエンドへと続いている。このためドライバーの視界も良好だ - Concept X6の優れたデザインによる効果である。サイドウィンドウの一体型クロームモールもこのクルマが持つ上質感を強調している。ピラー部分で分けられたウィンドウはフラットな印象を与え、軽快で透明感がある。Dピラーワークの「ホフマイスター・キンク」も

リア方向のライン処理に採用。丸みを帯びたバンパーアウトのプラスチックフレームやホイールハウスの枠なども、Concept X6の剛性を実証する最新のフォームとなっている。

サイドパネルは2本の特徴的なラインで分かれしており、フロントに向かって重なるように走っている。そしてV型ボンネットへと視線が集約する作りなのである。ドアハンドルに沿って走るキャラクターラインは特にパワフルな印象を与え、リアに向かって狭まりながらダイナミックなV字型を描き出すショルダーラインとサイドシルをサポートしている。この流れはテールランプまで伸びており、視覚的にもボディに伸びやかさが加わるのだ。サイドシルを並行に走るキャラクターラインがもう1つあり、ショルダーラインとシルラインの中間に配されている。ラインは前後とも、サイドパネルから大きなアーチを描く、パワフルなホイールハウスまで続く。Xシリーズではお馴染みの、少しだけ角ばった輪郭のホイールハウスだ。仕様は21インチの合金製リムで、Concept X6専用デザイン（Yタイプ）となる。

X6ではドアミラーにも新種のデザインを採用している。ミラーはボディと同色のローワー部分とアルミニウム仕上げのアッパー部分という2種類のコンポーネントで構成されている。ミラーフラップ部分の、デイタイムランニングライト（昼間点灯）に対応している白いコロナリングもBMWならではだ。

Concept X6では、サイドパネルの起伏あるボリューム感が特に印象的だ。この質感から生み出される光と影がクルマに力強さを与える、スポーツ・アクティビティ・クーペというコンセプトが持つ敏捷性を反映する。大らかなほどのボディがパワフルさを打ち出し、はっきりとしたラインからはエレガントな印象を与えていた。

強いショルダー、そしてパワフルな走行能力をアピールするリアマスク。

Concept X6のリアは、上品さとスポーティさ、そして剛性が一体となって調和した魅力的な姿を持っている。しっかりとしたバンパーと足回りの保護パーツは、Xシリーズのデザインを踏襲しているが、Xシリーズにマッチするようなクーペタイプのプロポーションも加えてあるのだ。グリーンハウスはリアに向かうほど細くなっていて、パワフルなリアを強調することで安定感を与えるホイールグリップは、ショルダー部分に強さがありながらも優美な印象を与える。もう1つクーペらしいのが、spoイラーエッジと一体化したテールゲートだ。

全体的なリア部分の外観は横方向への流れを意識したものとなっている。幅を強調して路上での存在感をアピールできる造りだ。ここでもメリハリの効いた魅力的な陰影が生み出され、ワイド感はホイールハウスエリアのリア全体にまで及ぶ。両端に置かれたリアエンドの排気パイプも、高級感あふれる台形のフレームを備えた人の眼を奪うデザインで、バンパー付近

のはっきりしたエッジはもう1つのアクセントとなっている。Concept X6の車高も、Xシリーズの流れを汲む証として存在している。こうしたディテールの上質さと洗練された佇まいは、世界初のスポーツ・アクティビティ・クーペであることを見せつける。

リアコンビネーションライトにもX6のこだわりが見えてくる。Xシリーズに共通のL字型リアコンビネーションライトは、新しい意匠が加えられ、躍动感を備えるものとなった。また、このリアコンビネーションライトはサイドウォールから突き出る形になり、夜間での視認性にも優れている。

大胆でダイナミックなデザインが、ドライバーに比類ないドライビング体験をもたらす。

BMW Concept X6のデザインは強烈なインパクトと長い余韻を残す。試作車が表現しているのは新たな可能性、スポーティさ、そして印象に残る現代的なエレガンス。クーペのダイナミックなラインとXシリーズの傑出したパワーと剛性を一つにするという構想を打ち出し、高級4WDというセグメントで、BMWは新境地への一歩を今まで、歩み出した。既にX5が披露したダイナミックなドライビングクオリティは、そのクラスには欠かせない条件となった。X3はその卓越した軽快さで、セグメントでも一歩先を行く成功要因となった。そしてX6は先駆者として更に進化を続ける存在となっている。

一貫してスポーティな外観を守ることは、Xシリーズの個性として大切に残されている。だからこそ、この試作車には特別な魅力が生まれているのだ。BMW Concept X6はダイナミックなクーペの雰囲気だけを尊重しているのではない。4ドアや大型テールゲートなど、多くのディテールにXシリーズらしさも提案している。このコンビネーションには全く新しいカーコンセプト、そしてBMWブランドの革新力という独創性と魅力が詰まっている。

全長

9/2007
Page 10

